

山形県介護生産性向上総合支援センターの取組み

令和6年5月28日
健康福祉部

【背景】

- ・ 本県の高齢者数は2025年にピークを迎えるが、高齢化率は上昇を続け、2040年には41%に上る。
- ・ 県内の介護職の有効求人倍率は、令和6年3月時点で、2.65倍と全職種平均（1.23倍）に比べ極めて高い。
- ・ 生産年齢人口が減少し、介護人材の不足が危惧される中、介護現場の業務効率化、業務改善が求められている。

介護への需要増と
人手不足への対応策
としての生産性向上

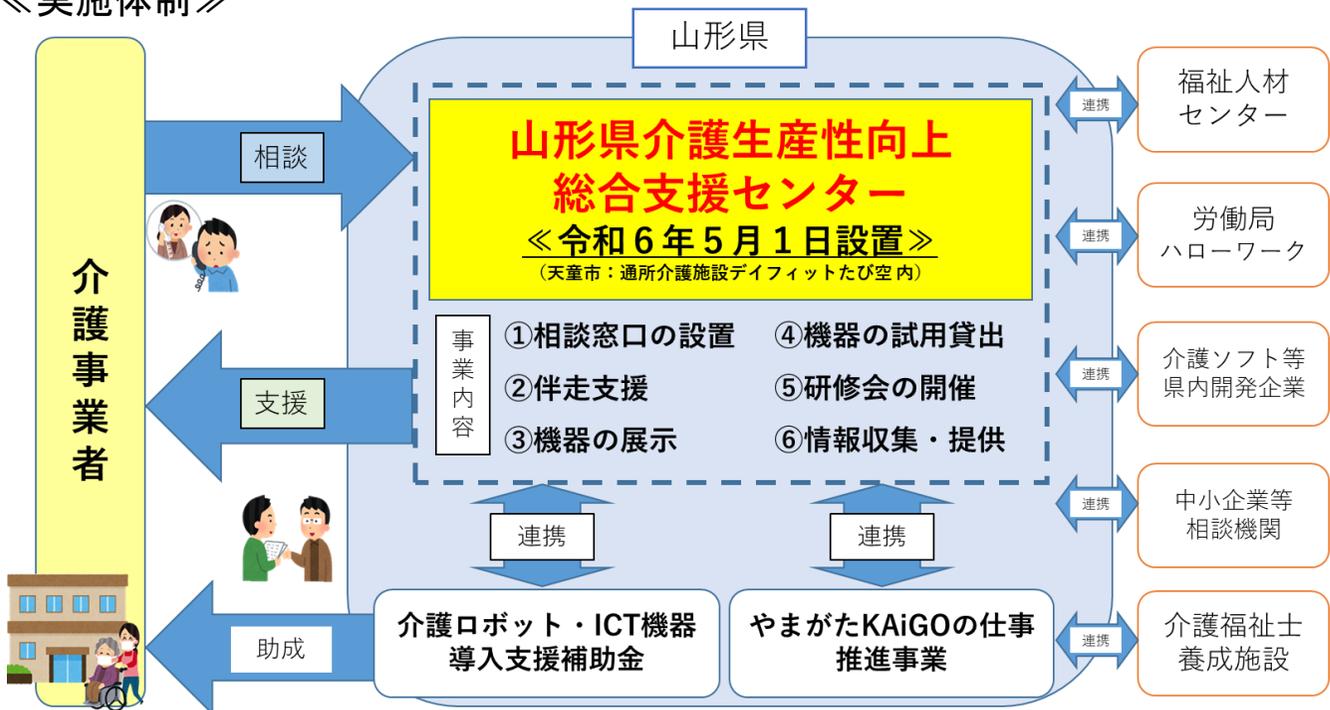
山形県介護生産性向上総合支援センター（令和6年5月1日設置）

- 相談窓口：介護事業所からの生産性向上・業務効率化に係る相談を受け付ける窓口の設置
- 伴走支援：介護事業所における業務改善の取組みを専門家が個別に支援し、地域のモデル事業を創出・横展開
- 介護事業所等向け介護ロボット・ICT機器の出張展示及び試用貸出の実施
- 介護事業所等向けに生産性向上に関する研修会を開催

～業務の効率化で働きやすい介護現場をつくる～

- ①介護職員の定着・離職防止
労働環境の改善により職員の負担軽減
- ②介護分野のイメージ改善と人材確保
業務効率化、業務改善により介護職の魅力向上
- ③介護サービスの質の向上
無駄な間接業務を減らし利用者と接する時間を創出

《実施体制》



①相談窓口

- ・ 生産性向上の取組全般に関する総合相談窓口
- ・ メール、電話、訪問により相談へ対応

④機器の試用貸出

- ・ 導入を検討している事業所に対し試用貸出
- ・ 事業所の課題に合った機器をメーカーと調整

②伴走支援 (単年度モデル事業)

- ・ 4月に公募
- ・ 5月に5事業所を選定、支援計画を策定
- ・ 6月から支援を開始

⑤研修会の開催

- ・ 村山、置賜、庄内の3地域で各2回実施予定
- ・ 伴走支援の取組状況を情報提供

③機器の展示・ 導入事例紹介

- ・ 研修やイベントで機器の紹介や体験を実施
- ・ 先進施設への見学会等をコーディネート

⑥情報提供と 交流の場

- ・ 機器の導入事例や業務改善事例を情報提供
- ・ オンラインによる交流事業を実施